

競技注意事項

1 競技について

- (1) 本大会は、2022 年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項により実施する。
- (2) 競技者招集について
 - a 招集場所は、第1ゲート付近に設ける。ただし、棒高跳の競技者は跳躍場において点呼を受ける。その際に「支柱移動申込用紙」（招集所に置いてある）を競技役員に提出すること。
 - b スタートリストはプログラム記載の招集開始時刻1時間前より掲示する。（招集開始時刻までには、招集場所に集合すること）招集開始時刻より点呼を開始する。
 - c 競技者本人がアスリートビブス、競技用シューズのピンおよびシャツ・バッグ等の商標チェックを受け、最終点呼を受けること。ただし、2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、招集開始時刻前に招集所にその旨を申し出て役員の指示に従うこと。
 - d 招集完了時刻に遅れた者はその競技種目に出場できない。
 - e 招集所から競技場所への移動は係員の指示に従うこと。
 - f 混成競技においては、1日目、2日目の第1種目は招集所で点呼を受けること。ただし、第2種目以降は混成控室にて点呼（トラックは競技開始の20分前、フィールドは40分前）をとった後、係員の誘導により競技場所へ移動する。混成控室は本競技場雨天走路内に設ける。
- (3) アスリートビブスについて
 - a 競技者は競技中、胸と背にはっきりと見えるように主催者が用意した2枚のアスリートビブスを付けなければならない。跳躍競技に出場する競技者は胸または背のどちらか一方でもよい。
 - b トラック競技の競技者は、主催者が用意する写真判定用の腰ナンバー標識を右やや後方に付ける。
 - c 800m以上のレースおよび4×400mRの第4走者は、左右両腰に腰ナンバー標識をつける。
 - d 1500m以上のレースについては、主催者が用意するレーンナンバーのビブスを使用する。
 - e 混成競技最終種目では、総合順位の高い競技者から順番に「1」「2」「3」…と順位を示す主催者が用意するアスリートビブス（胸のみ）を使用する。
- (4) トラック競技での不正スタートは日本陸連競技規則162条の規定通りとする。
- (5) スパイクシューズのピンの長さは全天候舗装につき9mm以下とする。また走高跳及びやり投の場合は12mm以下とし、ピンの数は11本以内とする。またスパイクピンの先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の寸法に適合するように作られていなければならない。
- (6) シューズの靴底（ソール）の厚さについて（TR5.2 TR5.13）
 - a シューズとは、スパイク、ランニングシューズを含むものである。
 - b トラック種目について、800m未満の種目（ハードル種目、4×100mR、4×400mRを含む）は20mm以下、800m以上の種目（障害物競走を含む）は25mm以下とする。ただし、競歩については40mm以下とする。
 - c フィールド種目について、三段跳以外の種目は20mm以下、三段跳び25mm以下とする。また、シューズ前部の中心点のソールの厚さは、シューズかかと部の中心点のソール厚さを超えてはならない。
※日本陸連競技規則に準ずる。
- (7) 組・走路順および試技順について
 - a トラック競技における予選ならびに決勝のみのトラック競技のレーンおよびフィールド競技における試技順はプログラム記載の通りとする。
 - b トラック競技における準決勝・決勝のレーンは番組編成員により公正に抽選し、掲示板に貼りだす。
- (8) リレー競技について
 - a リレーのオーダーは、各ラウンドとも所定のオーダー用紙に記入し、各組の招集完了時刻の1時間前までに招集所に提出すること。遅れたチームはその競技種目に出場できない。
 - b リレーに出場するチームは、同一のユニフォームを着用すること。
- (9) 跳躍競技のバーの上げ方について
下記の通りとする。ただし、天候等の状況により最初の高さおよびバーの上げ方を変更することもある。
1位決定戦及び全国大会出場の決定戦は、棒高跳は5cm・走高跳は2cmの上げ下げによって決定する。

走高跳	男子	練習 1m80 1m90	1m85 1m90 1m95 2m00 2m03 以後3cm
	女子	練習 1m40 1m50	1m45 1m50 1m55 1m58 1m61 以後3cm
混成 走高跳 (2ピット)	八種	練習 1m45 1m65	1m50 1m53 1m56 1m59 1m62 以後3cm 2ピットとも同じ高さから開始する
	七種	練習 1m15 1m35	1m20 1m23 1m26 1m29 1m32 以後3cm 2ピットとも同じ高さから開始する
棒高跳	男子	練習 3m60 4m00 4m40	3m80 3m90 4m00 4m10 4m20 以後10cm
	女子	練習 2m30 2m70 3m00	2m40 2m50 2m60 2m70 2m80 以後10cm

※ 三段跳の踏切板は、砂場まで男子12m、女子9mとする。 ※棒高跳の練習はゴムバー使用

(10) フィールド競技について

- a フィールド競技は、主催者が用意したマーカーを置くことができる。跳躍・やり投の競技者は、助走路の外側（走高跳では助走路内）に2カ所置くことができる。サークルから行う投てき競技はマーカーを1つだけ置くことができる。そのマーカーはサークルの直後あるいはサークルに接して置く。マーカーは、それぞれの審判員が現地で渡す。そのマーカー以外は使用してはならない。
- b コーチングエリアを設ける。そのエリア以外での助言等は禁止する。

(11) 助力について

競技場内での助力は禁止とする。スタンドからの助力については競技運営ならびに他の競技者の競技に妨げにならない範囲で認めるものとする。ビデオ等による助言は認めるが、競技者が視聴可能なコーチングエリアのみとする。その際、吊り下げや手渡し、競技者が視聴のため当該エリアから離脱するような行為、文書をもって連絡することは認めない。また、ビデオ・レコーダー・ラジオ・CD・トランシーバー・携帯電話もしくは類似の機器などを競技区域内で所持または使用することはできない。

(12) 競技用具について

競技に使用する用具は競技場備え付けのものを使用する。ただし、棒高跳用のポールは検査の上、各自が持参したものを使用する。

2 表彰について

- (1) 各種目とも8位までの入賞者は成績発表後、本部前で表彰を行うので入賞者控所（本競技場雨天走路）に集合すること。その際、競技役員の指示に従うこと。
- (2) 男女総合、トラック・フィールド競技の部は男女それぞれ3位まで表彰する。

3 応援及びテント設営について

- (1) 競技に支障のあるような応援はしないこと。特に集団応援は感染症対策のため禁止とする。
- (2) 手拍子応援等はスタンドの中段より上の場所で行うこと。フィールド競技（混成競技も含む）の予選については競技進行上、手拍子応援を求めない。
- (3) ホームストレート延長線上のサイドスタンドでの応援、テント・横断幕・のぼり旗の設営は禁止する。
- (4) 横断幕・のぼり旗などの応援布はバック及びサイドスタンド最上段のフェンス及び手すりのみ許可する。
- (5) メイン・サイド・バックスタンドでのテント設営は、中段通路より上段に張ること。
- (6) テント等の待機場所は、指定以外の場所は禁止とする。

4 応急処置について

大会期間中の事故については、本競技場医務室にて応急処置のみ行う。

5 その他

- (1) 競技場に商品名のついた衣類、バッグを持ちこむ場合は日本陸連「競技会における広告および展示物に関する規程」に順守すること。規定外のものが見えないようにテープを貼って対処すること。
- (2) トラック種目の衣類運搬について
100m・200m・1500m・3000m・5000m・100mH・110mH・3000mSC・5000mW・4×100mRの第4走者の衣類については、フィニッシュ地点まで運搬する。なお、4×100mRの1～3走者については、衣類運搬を行わないので、本人が出走した地点へ戻ること。
- (3) メインスタンド下通路（大会運営室側）は、競技者の通行ができない。トラック競技終了後は第2ゲートから出てスタンドの外側を通ること。フィールド競技は競技役員の指示に従う。
- (4) 開場について
6月16日（木）は10時00分、17日（金）～19日（日）は7時00分とする。
- (5) 学校受付は、西部緑地公園陸上競技場正面玄関ロビーにて行う。
6月16日（木）10:00～17:00 6月17日（金）～19日（日）7:30～17:00
- (6) 写真・ビデオ等の撮影については、受付で撮影許可証を受けること。また撮影禁止エリアでの撮影は禁止する。